

資料 1. 環境影響評価書中の各分類群（海域生物と水鳥類）の種数と絶滅危惧種の数

分類群	総種数	絶滅危惧種数*					備考（CR+EN の種の内訳など）
		CR+EN	VU	NT	DD	LP	
哺乳類	1	1					ジュゴン（天然記念物）
水鳥類***	28		8	1			ベニアジサシ、エリグロアジサシのコロニーあり
は虫類	9	1	4				アオウミガメ
魚類	1040	2	3	1	3	1	トカゲハゼ、チワラスボ
造礁サンゴ類	425						
軟体動物	1974	19	47	58	10		オガタザクラ、オトメタママキ、ナガタママキ、ニッコウガイ、ハートガイ他
節足動物	753	3	10	22	6	1	オキナワアカシマホンヤドカリ他、オカヤドカリ類 4 種は天然記念物
その他の動物	701		1	1	2		
海藻・海草類	403	6	12	26	13		ウミフシナシミドロ、クビレミドロ、ホソエガサ、ウミボッス、ハナヤナギ
合計	5334	<b>32</b>	<b>85</b>	109	34	2	

\*絶滅危惧種のランク分けは、環境省（第4次レッドリスト）、沖縄県（改訂版レッドデータおきなわ）、日本ベントス学会\*\*による。それぞれでランクが異なる場合は、ランクが高いものを示した。

\*\*日本ベントス学会, 2012. 干潟の絶滅危惧動物図鑑—海岸ベントスのレッドデータブック. 東海大学出版会, 神奈川.

\*\*\*鳥類は環境影響評価書では陸域生物として扱われている。ここでは海域埋め立ての影響が特に大きいと思われる水鳥類（チドリ科、セイタカシギ科、シギ科、カモメ科）のみを加えた。